

オプトアイソレータ不要、9V～36V 入力向け 同期整流式絶縁フライバック・コントローラ

2006年5月15日、リニアテクノロジーは、10W～60Wの絶縁電源向けに高精度レギュレーションと高効率を誇る、同期整流式フライバックDC/DCコントローラLT3837の販売を開始しました。

このコントローラ・デバイスは9V～36Vの入力電圧で動作し、産業および計測アプリケーションに最適です。LT3837は、トランス巻線を介して2次電圧を検知することによって出力電圧を安定化する電流モード・コントローラです。このため、オプトアイソレータを使用せずに正確な出力電圧レギュレーションが可能なので、ダイナミック応答とシステムの信頼性を改善します。同期整流によって変換効率を上げ、複数出力電源における出力クロスレギュレーションを改善します。たとえば、LT3837を使用することにより、最大90%の効率と±1%精度のレギュレーションで9V～36Vの入力電源を3.3V/12Aの絶縁出力に変換します。

独自の帰還アンプを搭載するLT3837は、フライバック期間にトランス巻線電圧をサンプリングし、この電圧を使用して出力電圧を正確に安定化するので、オプトアイソレータが不要です。これにより、設計者は電源の調整に費やす時間を減らすことができます。さらに、オプトアイソレータを使用しないことにより、出力過渡応答を改善します。1次ゲート遅延をプログラム可能なので、回路を構成する複数のディスクリート部品が不要となり、MOSFETスイッチング時間とトランス選択が最適化されます。LT3837はコンデンサを使用してスイッチング周波数を50kHz～250kHzの範囲で調整できるので、設計をさらに簡素化することができます。このデバイスは外部発振器に同期することも可能です。

LT3837は-40℃～125℃での動作が定格されています。熱特性が改善された16ピンTSSOPパッケージで供給され、1000個時の参考単価は371円(税込み)からです。

LT3837の特長

- オプトアイソレータ不要
- 同期整流式ドライバにより、高電力と高効率動作を実現
- ユーザの調整なしに正確なレギュレーションを実現
- 50kHz～250kHzのスイッチング周波数
- 同期可能

以上